

第1講 「抗がん剤治療は、怖いと思っていないですか？ー薬剤の進歩が届ける患者に寄り添う抗がん剤治療ー」

質問内容	回答
①抗がん剤治療の功罪	
抗がん剤を使用した際の金銭の負担について教えてください。高いですよね？	薬剤、投与量、個人の保険負担額により負担額は異なります。
いつまで延命すれば良いのか	答えはないと思います。
何%ぐらいの確率で効果ですか。	がんの種類、使用する抗がん剤によって異なります。
手術後の治療について副作用が強くて薬だけでなく精神的なことはないのか	治療による精神的ストレスは個々に異なりますが、大なり小なりあると思います。
罪ってどんな？	抗がん剤の功罪の罪は、副作用と考えています。
②抗がん剤の副作用を減らす工夫	
がん以外の持病の治療薬(リウマチ)との関係は？	相互作用がある可能性はあるので、担当医、薬剤師による確認が必要です。
弱い抗がん剤であるS-1を服用していますが、毎日吐き気がします。強い抗がん剤用の吐き気止めを飲んでいますが、6日位しか飲めない吐き気止めです。飲み続けて良いのでしょうか？	吐き気どめて吐き気がコントロールできていれば、現在の投与量のままで良いかと思います。コントロールできていなければ、担当医と減量について相談されるのも良いかと思います。
手足のしびれ、味覚障害	手足のしびれが起こる薬は決まっています。そのしびれが軽いうちに、一旦薬剤をお休みして、治まってからもう一度使うというのがいいマネジメントだと言われています。しびれに痛みが伴う場合には治療承認されたお薬もあります。味覚障害については血液検査を受けていただいて、亜鉛欠乏に伴う症状である場合は亜鉛を補充する薬剤があります。味覚障害を治す薬というのはありませんが、口腔ケアをすれば改善する場合がありますと言われています。
③効果が高く、副作用が少ない治療薬の開発	
免疫チェックポイント阻害薬が使えない場合はないのでしょうか？	疾患、病状(再発予防かそうでないか、それまでに抗がん剤治療歴があるか、など)によって保険適応かどうかが決まっていますので、使用できない場合は多くあります。
免疫チェックポイント阻害薬の後遺症の心配はないのでしょうか？	一度免疫チェックポイント阻害薬を使用すれば、生涯、副作用が出現する可能性があります。ホルモン異常が出現した場合、ホルモン異常は治癒しないため、ホルモン剤を生薬服用する必要があります。
免疫チェックポイント阻害薬の副作用が強い場合は、治療を断念することになるのでしょうか？	強い副作用が出た場合、どの臓器に副作用が出現したかによって免疫チェックポイント阻害薬を再度使用するかどうかの治療方針が異なります。強い副作用として肺炎が出現した場合は、再度使用しなことが推奨されています。一方、重症の1型糖尿病が出現した場合、インシュリンを投与しながら継続が可能です。
免疫チェックポイント阻害薬の前立腺癌の・・・は？	限られた条件下(抗がん剤の治療歴がありマイクロサテライト不安定性であることが組織検査で判明している場合)でのみ使用可能なので、適応となる頻度はかなり低いと思います。
費用対効果の問題	費用対効果は、がん種、がんの状態により異なります。
膵臓がんには何かないのですね	限られた条件下(抗がん剤の治療歴がありマイクロサテライト不安定性であることが組織検査で判明している場合)でのみ使用可能です。
東京大学のウィルス患部に直接入れる方法を導入して欲しい。(夫が患者)	その治療法を存じ上げません。お役に立てず申し訳ございません。
日進月歩で薬開発されていると思いますが、希少がん・胆管がんの薬はどうですか？	胆管がんに対しては、遺伝子変異の状況により使用できる新規薬剤があります。胆管がん、希少がんは、がんゲノム医療連携病院である当院で、がん遺伝子パネル検査を行い、適応となる保険薬剤がないか、あるいは参加できる治験がないか検討し、治療薬に結びつくことを期待します。
どんな癌でも開発されているのか	日本中、世界中で行われている薬剤開発の内容をすべて把握することは不可能なので、お答えが困難です。
④その他	
豊中病院でしている取組みは、どの病院でも行っているのか？病院ごとに異なるのか？又その割合など	病院ごとに異なると思います。
抗がん剤治療中に体調が悪くなったら、予約外で外来治療がスムーズに受けることは出来ますか？	治療を受けることはできます。ただいつもおすすめしているのは当院は平日は11時まで各診療科が通院している患者さんの診察で対応しているので、11時までに来ていただけると、自分の担当医の先生のご意見を反映させた診療を受けることができます。24時間対応は可能ですが、夜間や土日になると、がんの専門医ではない医師が救急当直をしていることがあるので、自分の体調がおかしいと感じた場合は早めに来院してください。
入院の抗がん剤治療とは、どの様な違いがありますか？	外来治療センターは、抗がん剤治療に特化しているため、メディカルスタッフ(看護師、薬剤師など)の抗がん剤に対する知識や対応能力が、様々な疾患の患者さんを診療する入院のメディカルスタッフより高いと思います。
日常生活を続けやすくなるなかで、仕事両立がどれぐらい出来るようになっているのか？シェアードディンジョンメイキングー本人の価値で許えを伝える人が増えているかー生活支える地域との連携の実態	残念ながらどれくらいかの頻度については不明です。
私は今市立豊中病院で骨髄異形成症候群の治療のためアザシチジン注射をしています。先日医療保険金の請求をしました。注射は、先端医療に該当するのでしょうか？果たして先端医療に該当する治療にはどんなものが有るのでしょうか？	申し訳ありませんが、担当医の先生にお問い合わせください。
遺伝子パネル検査の有効性について	がん遺伝子パネル検査で治療に結びつく患者さんは検査を実施した方の10%程度と報告されています。効果についてのまとまったデータはありません。
抗がん剤の効果は、どれ位の日数で薬が効いているかわかりますか。	疾患、個人、病状によって異なりますが、固形癌の場合、治療から2ヶ月たつと効果をCTで評価することが多いと思います。